

◆ご講演を頂く演者の皆様へ(ご講演規定)

<ご講演の素材規定>

会場でのトラブルを防ぐため本会では下記のように決めさせていただきます。

●プレゼンテーションはWindows 系のパソコンと、Power Point で作成しPC またはデータをご持参下さい。(別途お送りする、「第8回EMR 研究会ご発表機材確認書」をご参照の上、必要事項を記入して事前にE-mail またはファクシミリにてご提出ください。)

●Macintosh をご使用されている場合には、ご自身のパソコン持参を原則とさせていただきます。プロジェクターの接続はD-sub15 ピン3 段 RGB コネクタですので、それ以外の仕様の場合は変換ケーブルをご持参ください。

Mac のスリープモードは解除してください。

<ご講演の時間規定>

各演題のご発表時間は以下の通りです。

会の円滑な運営のため、ご発表のお時間は厳守いただきますようお願いいたします。

●ミニレクチャー： ご発表時間15分、質疑応答時間5分

●ランチョンセミナー： ご発表時間50分、質疑応答時間5分

●一般演題ご発表時間： 発表5分、質疑応答2分

第8回EMR/ESD研究会 プログラム

9:50～ 開会挨拶

代表世話人 工藤 進英 昭和大学横浜市北部病院 消化器センター
当番世話人 小野 裕之 静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科

10:00～11:00 I 食道ESD -限界への挑戦-

司会	京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座	武藤 学
	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野	竹内 学
コメンテーター	東海大学医学部 内科学系消化器内科学	峯 徹哉
	佐久総合病院 胃腸科	小山 恒男

I-1 食道癌に対するITナイフ2を用いたESD

静岡県立静岡がんセンター 蓮池 典明

I-2 食道におけるESDの限界「範囲の限界」「深達度の限界」

昭和大学横浜市北部病院消化器センター 南 ひとみ

I-3 食道ESD—治療困難例の克服—

佐久総合病院 胃腸科 北村 陽子

I-4 食道静脈瘤合併食道癌に対するESD

秋田大学 消化器内科学分野 松橋 保

I-5 食道表在癌に対するESDの限界—自験例の検討から

国立国際医療センター国府台病院 消化器科 工藤 恵子

I-6 ムコゼクトームにより2ヶ所の広範囲食道ESDを施行した1症例

自治医科大学附属さいたま医療センター 鷺原 規喜

I-7 ESDで切除し得たEMR後遺残バレット食道癌の一例

岡山大学病院 光学医療診療部 河原 祥朗

I-8 化学放射線療法後の遺残・再発病変に対する食道ESD

国立がんセンター中央病院内視鏡部 野中 哲

11:00～11:20 ミニレクチャー 画像強調技術を用いた内視鏡診断

司会	大阪厚生年金病院 内視鏡センター	道田 知樹
講師	東京慈恵会医科大学 内視鏡部	貝瀬 満

11:20～12:20 II 胃ESD -限界への挑戦-

司会	国立がんセンター中央病院 消化器内視鏡グループ	後藤田 卓志
	静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科	小野 裕之
コメンテーター	斗南病院 消化器病センター	近藤 仁
	虎の門病院 消化器内科	矢作 直久

II-1 潰瘍癒痕症例をどうするか？～エキスパートがいなくとも満足する成績が出せるか？

新潟県立中央病院 平野 正明

II-2 UL合併症例におけるESDの問題点

佐久総合病院胃腸科 三池 忠

II-3 ESDにて一括摘除した穹隆部大弯のEMR後遺残再発早期胃癌の1例

広島大学病院光学医療診療部 岡 志郎

II-4 ESD後に狭窄を来たした早期胃癌の1例

広島市立広島市民病院 内科 沼田 紀史

II-5 早期胃癌に対する広範なESD後に著明な胃排出障害を来たした一例

新潟大学医歯学総合病院 第三内科 佐藤 明人

II-6 プロポフォール鎮静下に二酸化炭素送気を用いた胃ESDの安全性と有効性

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓・感染症内科学 谷岡 大輔

II-7 未分化癌適応拡大への挑戦

癌研有明病院 消化器内科 平澤 俊明

12:20～12:30 休憩

12:30～13:25 ランチョンセミナー NOTESの現況と将来-米国メイヨークリニックでの経験を中心に

司会	昭和大学横浜市北部病院 消化器センター	井上 晴洋
講師	東京慈恵会医科大学 内視鏡部	炭山 和毅

共催：エーザイ株式会社

13:25～13:40 休憩

13:40~14:50 III 大腸EMR/ESD -限界への挑戦-

司会	国立がんセンター中央病院 消化器内視鏡グループ	斎藤 豊
	静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科	山口 裕一郎
コメンテーター	広島大学病院 光学医療診療部	田中 信治
	神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部	豊永 高史

III-1 技術面以外からの限界への挑戦

地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 治療内視鏡科 本間 清明

III-2 大腸腫瘍性病変における内視鏡治療の適応拡大

東京医科大学 消化器内科 福澤 誠克

III-3 大腸腫瘍のEMRおよびESDの適応基準

昭和大学横浜市北部病院消化器センター 塩飽 洋生

III-4 10mm以上の直腸カルチノイドに対する内視鏡治療

国立がんセンター中央病院 内視鏡部 坂本 琢

III-5 8cm以上の大腸腫瘍性病変に対するESD 6例の経験

松田病院 内視鏡センター 浅野 道雄

III-6 歯状線および虫垂入口部近傍の広範な病変に対しESDを施行した2例

坪井病院 消化器科 小澤 俊文

III-7 ESDで完全一括切除しえた痔核上に存在する大腸腫瘍の1例

広島大学病院 光学医療診療部 金尾 浩幸

III-8 遺残・再発病変に対する大腸ESDの意義

岡山大学大学院 消化器・肝臓・感染症内科学 浦岡 俊夫

III-9 腸結核による潰瘍瘢痕上に生じた早期大腸癌の一例

医仁会武田総合病院 消化器センター 滝本 見吾

III-10 粘膜下層に線維化を伴った大腸腫瘍に対するESDの適応と限界

国立国際医療センター国府台病院 消化器科 小池 貴志

14:50~15:10 ミニレクチャー ここまで来た！ パーチャルコロノスコーピー

司会	秋田赤十字病院 消化器病センター	山野 泰穂
講師	国立がんセンター中央病院 放射線診断グループ	飯沼 元

15:10~16:10 IV 限界を克服するために -新しい器具、手法の開発-

司会	北里大学東病院 消化器内科	田辺 聡
	大阪府立成人病センター 消化器内科	上堂 文也
コメンテーター	東京大学医学部附属病院 消化器内科	藤城 光弘
	国立がんセンター東病院 消化器内科	土井 俊彦

IV-1 新しい画像強調技術i-scanとMega-pixel内視鏡を用いたESD

岡山大学病院 光学医療診療部 河原 祥朗

IV-2 ESDにおける粘膜下膨隆形成のための二酸化炭素局注の可能性

岡山大学大学院消化器・肝臓・感染症内科学 浦岡 俊夫

IV-3 胃ESD術中出血、穿孔に対する安全な手技、工夫

東京医科大学消化器内科 片岡 幹統

IV-4 ボールチップ型B-Knifeが有用であった点墨施行後の早期大腸癌の1例

国立がんセンター中央病院内視鏡部 福永 周生

IV-5 バイポーラスネアによる大腸内視鏡的治療

国立がんセンター東病院 内視鏡部 池松 弘朗

IV-6 SBナイフによる限界の克服

地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 治療内視鏡科 本間 清明

IV-7 ボールチップ型フラッシュナイフの開発

神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部 豊永 高史

16:10~ 統括発言

日本消化器内視鏡学会理事長 丹羽 寛文